

校長室通信

津谷中学校 校長 今野

令和2年4月8日（水）

以前、校長室通信を発行していた校長先生がいらしたと言うことを伺っておりましたので、私も昨年度より不定期ながら生徒または保護者の皆様に向けて発行しております。

今回は **令和2年度始業にあたって** です。

昨年度末（3月）から新型コロナウイルス感染症への対応のため、保護者の皆様、地域の皆様には大変ご心配をおかけしております。そのような中、本日から新年度が始まりましたが、市内の学校は現在のところ4月19日まで臨時休業になります。学校再開後は、これまでの分を焦らずに生徒目線で進めていきたいと考えております。



【みなさんを待っています！】

ところで、日本はもとより、世界的に新型コロナウイルス感染症の拡大にばかり目が行っておりますが、基本的なところとして『新型コロナウイルス』が従来のインフルエンザと違って恐れられていることは、

- ①これまでに例のない細菌だけに、我々の体内の免疫が機能しないこと。
- ②治療薬が未だ無いこと。
- ③治療法方法が未だに無いこと。 です。

したがって、外出自粛や臨時休校などの措置は、人への感染防止はもちろんのこと、医療現場の崩壊防止のためでもあります。このことを私たちは理解しながら、治療薬や治療法方法が開発されるまでの間、新型コロナウイルスに対して“正しく恐れる”必要があると感じております。

現在、日本人が世界各国から集団行動の素晴らしさを評価されており、諸外国と比較して感染者数が一気に拡大しないのもこれまでの集団的取り組みの成果だと思えます。本校としては、今後は気仙沼市教育委員会の指示を仰ぎ、旧本吉町内小中学校5校と連携すると共に中学校行事に関しては、本吉地区中学校13校と情報共有しながら取り組んでいきたいと考えております。これまでの日本の歴史においては、過去に何度か疫病と言われるものが流行し、多くの人々が命を失った記録があります。昭和は戦争、平成は災害、令和は細菌との時代とまで言われておりますが、今に生きる私たちとしては、このような状況下にあっても、将来を生き抜く生徒たちに対し、現段階で身に付けさせなければならないものを見極め、しっかり身に付けさせたいと考えております。令和2年度が始まるあたり、校長としての考えを書かせていただきました。今年度も「生徒がさわやかな挨拶ができる学校」を目指して取り組んでいきたいので、皆様の御理解、御協力をお願いいたします。

